

岐阜労働局発表  
平成29年8月28日（月）

担 当	岐阜労働局労働基準部監督課	
	監督課長	佐藤 健台
	主任監察監督官	金丸 裕子
	電話	058-245-8102
	FAX	058-248-2339

## 最低賃金違反事業場は 11.2%

最低賃金の履行確保を重点とする監督指導結果

岐阜労働局は、平成29年1月～3月に県下7労働基準監督署が実施した「最低賃金の履行確保を重点とする監督指導結果」を取りまとめた。

- 1 監督指導を実施した250事業場のうち、最低賃金違反（注）は28事業場であり、監督指導を実施した事業場全体の11.2%であった（表1）。

平成28年1月～3月の実施結果（監督実施230事業場）では最低賃金違反は39事業場（違反率17.0%）であったことから、最低賃金違反事業場の割合は低下したが、全体の10%を超える水準にある。

（注）岐阜県最低賃金の最低賃金額（時間額776円）以上の賃金を支払っていないかたもの。

- 2 業種別最低賃金違反状況

食料品製造業が40事業場中5事業場（12.5%）、窯業・土石製品製造業が18事業場中2事業場（11.1%）、小売業が67事業場中6事業場（9.0%）、飲食店が42事業場中6事業場（14.3%）などとなっている（表1）。

表1 業種別最低賃金違反状況

	平成29年1～3月			平成28年1～3月		
	監督事業場数	違反事業場数	違反率(%)	監督事業場数	違反事業場数	違反率(%)
製造業	95	12	12.6	82	18	22.0
食料品製造業	40	5	12.5	15	5	33.3
窯業・土石製品製造業	18	2	11.1	1	0	0.0
商業	87	8	9.2	107	16	15.0
小売業	67	6	9.0	88	11	12.5
接客・娯楽業	54	8	14.8	27	3	11.1
飲食店	42	6	14.3	17	2	11.8
上記以外の業種	14	0	0.0	14	2	14.3
合計	250	28	11.2	230	39	17.0

### 3 最低賃金額未満の労働者の状況

最低賃金違反事業場において最低賃金額未満の労働者数は73人で、雇用形態別にみると、パート・アルバイトが68人で93.1%を占め、年齢別では65歳以上が18人(24.7%)であった(表2)。

**表2 最低賃金額未満の労働者の状況**

事業所規模	監督実施事業場数	労働者数	違反事業場数	違反率(%)	最賃未満労働者数	最賃未満労働者の内訳		
						パート・アルバイト	障害者	65歳以上
1～9人	132	655	18	13.6	39	37	1	17
10～29人	100	1669	10	10.0	34	31	4	1
30人以上	18	1035	0	0	0	0	0	0
合計	250	3359	28	11.2	73	68	5	18
割合(%)					100.0	93.1	6.8	24.7

### 4 最低賃金についての認識

(1) 監督実施事業場に対し、最低賃金についての認識を尋ねたところ、「最低賃金額を知っている」と答えた事業場が205事業場(82.0%)と、8割を超えたものの、最低賃金額を知らないと答えた事業場が45事業場(18.0%)認められた(表3)。

**表3 監督実施事業場の最低賃金額の認識状況**

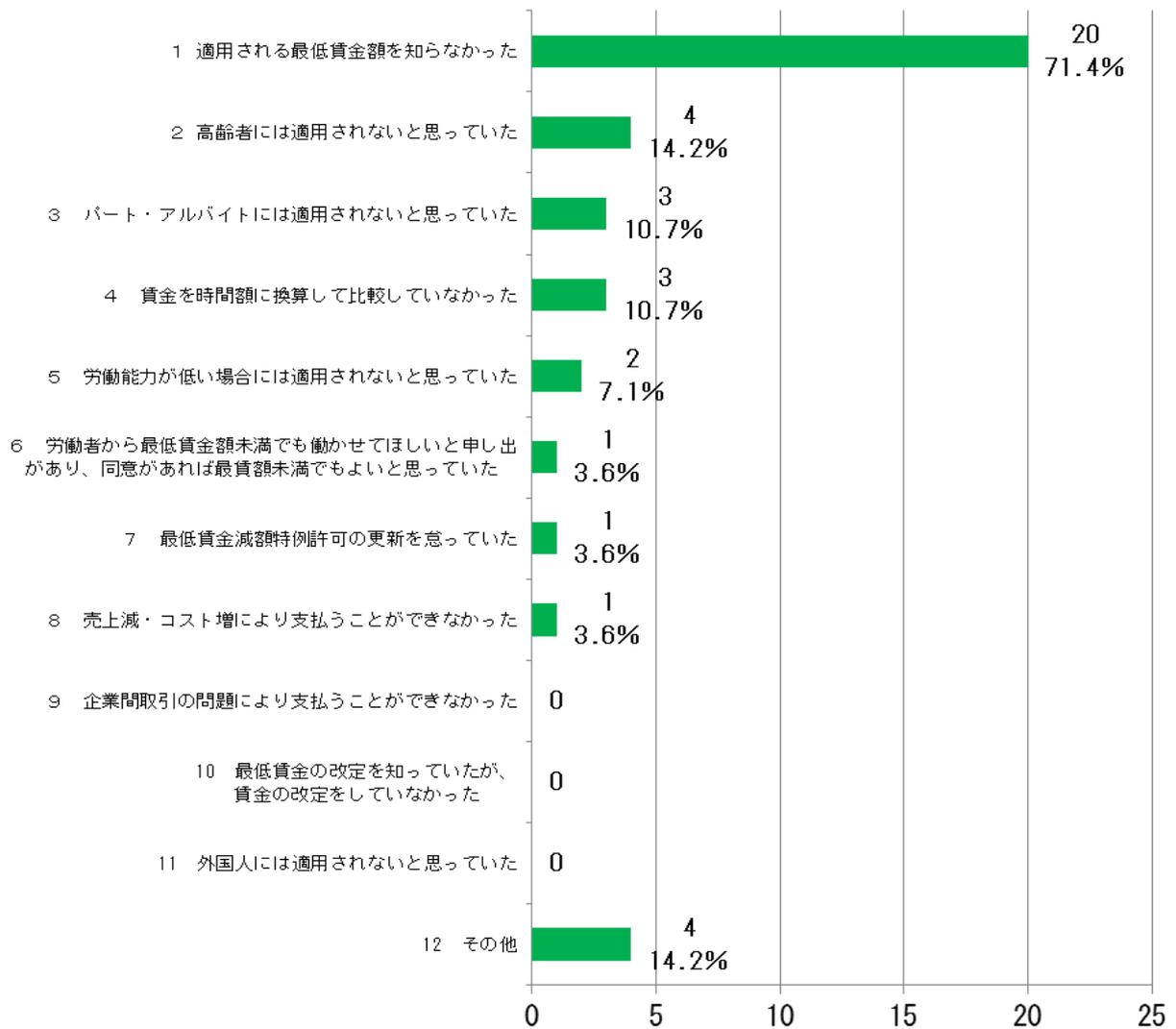
監督実施事業場数	最低賃金額を知っている	最低賃金額を知らない
250	205	45
割合	82.0%	18.0%

(2) 最低賃金違反事業場に対し、最低賃金額以上の賃金を支払っていない理由を12項目を示して尋ねたところ、28事業場中20事業場(71.4%)が「適用される最低賃金額を知らなかった」と回答しているほか、「高齢者には適用されないと思っていた」(4事業場)、「パート・アルバイトには適用されないと思っていた」(3事業場)という回答も認められた(表4、グラフ)。

**表4 最低賃金違反事業場の最低賃金額の認識状況**

違反事業場数	最低賃金額を知っている	最低賃金額を知らない
28	8	20
割合	28.6%	71.4%

グラフ 最低賃金違反の28事業場が最低賃金額以上を支払っていない理由(複数回答)



その他の回答内容

- ・ 欠勤が多く減額をしたところ、最低賃金額を下回った。
- ・ 勤務時間数が少ないため、適用がないと思っていた。
- ・ 障害者が最低賃金の適用労働者だと知らなかった。
- ・ 改正された最低賃金額を知ったのが最近であった。